

令和3年度 第4回 広報公聴委員会 会議録

開催日	令和3年9月1日(水)
会議時間	午前10時31分 ~ 午前11時39分
開催場所	佐倉市議会 議会棟1階 全員協議会室
出席委員等	[委員長] 敷根 文裕 [副委員長] 徳永 由美子 [委員] 松島 梢、高橋 とみお、宇田 実生子、鍋田 達子、 密本 成章、岡野 敦、斎藤 明美、萩原 陽子
欠席委員等	なし
委員外議員	なし
説明のため出席した者の職氏名	なし
議会事務局	[局長] 向後 昌弘 [次長] 宮崎 由美子 [書記] 飯野 明、野村 忍、久保田 雅子
協議事項	(1) 議会だより(8月定例会号)について (2) 議会報告会、意見交換会について

【決定事項】

(1) 議会だより(8月定例会号)について

令和3年11月1日発行予定、部数は50,000部を予定、基調色はオレンジ。

レイアウトについては、以下の各項目を掲載。

- ・ 1頁 8月定例会概要、スクラッチカードのイメージ写真、決算審査特別委員会の概要、決算審査特別委員会に関する写真  
定例会の本文に、5ページの議案の概要に誘導する案内文を入れる。
- ・ 2～5頁 一般質問通告要旨、一般質問の内容、用語解説、次回定例会の予定、8月定例会の主な議案の概要
- ・ 6頁 8月定例会の議案賛否一覧
- ・ 7頁 議案に対する会派等の意見
- ・ 8頁 委員会報告、議会百景、ホームページの案内、コロナ対策の記事
- ・ 欄外 一般質問の2次元バーコードの説明、マチイロのPR、夏季の議会中の服装

(2) 議会報告会・意見交換会について

実施計画(案)を議長に報告し、議長から会派代表者会議に提案いただき、実施計画を決定する。

【内容】テーマ：コロナ禍の商工業の現状と課題について

【意見交換の方法】 書面(アンケート)

【アンケート対象者】 佐倉市中小企業事業継続支援金を申請した者

【アンケート実施時期】 11月初旬から12月末

9月末までに、会派ごとに設問内容の案を事務局へメールする。

集計は広報公聴委員で行う。

(3) 手書き用原稿の書式について

手書き用の書式で提出する方がほとんどいなくなったため、紙の手書き用の書式の配布を廃止。

一般質問は、文字数、締め切りを質問した議員にメールで知らせる。  
会派等の意見は、広報公聴委員会の委員に代表して送る。会派に属さない議員は個別に送る。  
議会百景も担当委員に個別に送る。

### 【主な意見等】

#### (1) 議会だより（8月定例会号）について

- ・議会で感染対策をしていることを入れた方がよい。
- ・市民に関心の高い使用料・手数料と水道料金値上げについての記事を1頁目に入れた方がよい。→使用料・手数料の議案は内容が多岐にわたるので全てを載せることはできない。1頁の定例会の本文に、5頁の主な議案の概要へ誘導できるように工夫する。
- ・決算関係の写真は集合写真と審査風景の2枚は必要ないのでは。→例年1枚。
- ・1頁目の8月定例会の概要の文章と写真につながりが持てるよう工夫を。

#### (2) 議会報告会・意見交換会について

- ・インターネットアンケートでどこまで意見を聞けるか。  
事業者によっては、インターネットで答えることに労力がかかる。
- ・支援金申請者へのアンケートとは別に、商工会議所など、他の団体にも意見を聞いては。
- ・団体とのつながりを広げたら、どこまで広げるのか。
- ・団体とは議員はつながりがあれば聞く機会がある。支援金申請者へのアンケートは、団体に所属していない、議員とのつながりもない個人の事業者の声が聴ける。
- ・今回に関しては、『佐倉市中小企業事業継続支援金を申請した者』に集中した方がよい。  
それよりも返信してもらえるような方法を考えた方がよい。
- ・アンケートの周知は、ハガキではなく封書の方がよい。封書にアンケート用紙を同封すれば、ネットが出来ない方はすぐに返信ができる。
- ・返信用の封筒など、経費がかかる。封書との差額はどのくらいか。
- ・経費を優先してはがきのほうがよい。
- ・申請を援助している団体に通知をしてアンケート回答を促してもらうようにしたらどうか。
- ・今回のアンケートは初めての試みであるので、ターゲットは絞った方がよい。

### 【次回の開催について】

令和3年10月4日（月）午前10時00分から

以上のとおり会議要録を作成し、ここに署名する。

委員長 敷根 文裕